

エコトス

EcoToss

REUSE
REPAIR
UPCYCLE

特集

サステナブルファッション

Vol.2
2024
TAKE FREE

サステナブルファッションとは??

今、洋服におきている **問題!**

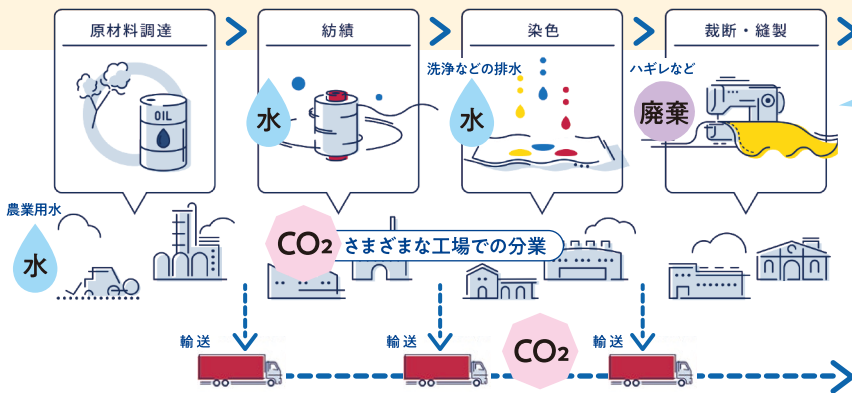
ファッション産業は石油産業に次いで**世界第2位の環境汚染産業**となっています!

洋服が作られてから廃棄されるまでに起きている環境問題

洋服の製造プロセスでは、CO₂が排出され、大量の水が使われます。また、化学物質による水質の汚染や端材等廃棄物の排出も問題視されています。国内における供給数は増加する一方で、衣服一枚あたりの価格は年々安くなり、市場規模も小さくなっています。つまり、大量生産・大量消費が拡大しているとも言え、衣服のライフサイクルが短くなるといった大量廃棄への流れが懸念されます。



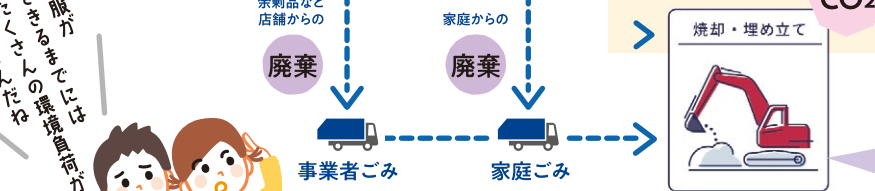
大量生産



大量消費



大量廃棄



洋服がもたらすには、
たぐひの環境負荷が
かかるといえる



水の問題

年間約83億m³

国内に供給される衣服の製造に必要な水の量は年間約83億m³、うち9割は原材料調達によるものです。



CO₂の問題

年間排出量約9,000万t

日本で売られている衣服の98%が海外からの輸入です。日本のファッション産業によるCO₂排出量は、原材料調達および製造段階で90%以上を占めており、ファッション産業を持続可能にする為には海外での環境負荷の実態把握とその削減が重要です。

廃棄の問題

平均1日あたり
大型トラック約120台分

日本の家庭から焼却・埋立される衣服は、年間約45万トン。廃棄量の削減が課題です。



アフリカの古着問題



サステナブルファッションの実現に向けて、自治体やアパレルメーカーでは着なくなった衣服を回収する取組が増えています。集められた古着はさまざまな取組に活用されていますが、実は、先進国で集められた古着の多くは、最終的にアフリカに渡っています。近年のファストファッションの影響もあり、処理しきれず山となった大量の古着は現地環境問題にもつながっています。衣服の回収を検討する際は、どのような人に渡するのか、どのように活用されるのかをしっかりと確認し、信頼できる団体や企業を選びましょう。

出展: 原 貴太著(2021年)『あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣』KADOKAWA

TOPICS

Sustainable Fashion

「持続可能なファッション産業」

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のことを言います。

出典：環境省「サステナブルファッション」
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

問題を

解決する ために今、企業が取り組んでいること

これからのファッション産業は、

「適量生産・適量購入・循環利用」を軸にした/
循環サーキュラー型へ

使い手の人に長く
着てもらふ服作り



僕たちにも
何かできることは
あるのかな??



“再生材料”や
アップサイクルへの取組



不要になった洋服をいれる
回収ボックスの設置



リユース市場の活性化や
サブスクリプション制の導入

私たちにもできること

リペアの活用

服の修繕やリペアの活用で、愛着をもちながら長く服を楽しめます。修繕を行ってくれる店で服やアイテムを買うことも、サステナブルファッションへの取組の第一歩といえるでしょう。



サステナビリティを重視する企業の洋服に注目する

サステナブルなファッションへの積極的な取組を行っている企業の洋服に注目してみましょう。「環境に配慮された素材か?」「どのような過程で作られているのか?」「サステナビリティへの配慮がされているか?」といった点に意識を向けるだけでも服の見方が変わるかもしれません。

一目の前のものを大事にすると、みんなのハッピーにつながる—

リメイクしてみませんか?

衣料品のリメイク活動サークル
「もったいないチーム」

エコギャラリー新宿を拠点にリメイク活動をしている平田さんにお話をうかがいました。



リュックにリメイクした
最初の作品。
元は傘の布!



@RISAKO_SHINJUKU
もったいないチーム
Instagram



Q1.

リメイク活動をはじめたきっかけは?

母親がリメイク好きで、ものを長く使うことが当たり前の家庭に育ちました。
傘布を使って親子ペアのリュックを作ったのがはじまりです。



Q2.

もったいないチームとはどのような集まりですか?

エコギャラリー新宿を拠点に、古布や着物地をリメイクして、洋服や小物など、好きなものを作っています。現在8名のメンバーがいます。



Q3.

どのような思いで、リメイク活動をされていますか?

使い捨てを無くしていきたいです。衣服は思い入れのあるものです。だからこそ、ごみにしないで新たな命を吹き込み、身近に置いておいてほしいと思っています。



Q4.

これからリメイクをしてみようと思っている方へメッセージ

作品が仕上がる達成感や、作品への愛着を感じる事ができます。いま手元にあるものを見直し、大切にしていきたいです。

都心型店舗として、社会に情報発信を。

無印良品

新宿靖国通り



2023年10月13日。無印良品初の衣服専門店としてリニューアルした「無印良品 新宿靖国通り」。サステナブルファッションの実現に向けて、さまざまな取組を行っており、ReMUJIとしての売り場面積は国内最大規模で売り上げも日本一。

そこには、企業理念をベースとした、よりよい社会づくりに向けた熱い思いと創意工夫がありました。

ご案内いただいた方は

(左から) 循環推進部
戸村 幸太さん
新宿靖国通り 店長
酒見 翔さん
循環推進部
永戸 順也さん



愛用してきた衣服は、色、形を変え 次のつながりへ。

無印良品では、着なくなった衣服を店舗で回収し、リユース、リサイクルする取組を行っています。2010年にはじめた当初は、資源としてエネルギーに変える取組に参加し、回収していましたが、実際に集めてみると状態の良いものが多いことに気づきました。“そのまま全部エネルギー資源にするのはもったいない”と、2015年から回収した衣服を染めなおして再販売する取組としてReMUJIをスタートしました。現在、「染めなおした服」など3タイプの商品を25店舗で取り扱っています。回収した衣服は、色や形を変えることで新たな価値が生まれ、次へとつながります。

「染めなおした服」

Reuse



回収した衣服を、日本で藍色、黒色に染めなおしました。製品染め特有の風合いと元の服の素材や色柄によって変わる色味が魅力です。

「つながる服」

Reuse



2枚のシャツをつなぎあわせて、新しい形のシャツとして再商品化しています。全て1点ものなので、特別感も愛着もわきます。また、ゆったりめのサイズ感で、どなたでも着やすい形です。

「洗いなおした服」

Reuse



状態のよい衣服は洗いなおし、古着として販売しています。例えばデニムは、はき込んだ風合いを楽しんでいただけます。

Recycle

その他、無印良品では、回収した衣服や製造工程で生じる端切れなどをリサイクルした素材も使用しています。例えばウール製品は粉碎、紡績などを経て、再度ウール生地に再生され、新しい製品になります。

衣服の回収



お客様の反応

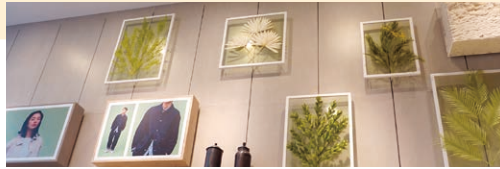
「つながる服」を目的に来店される方もいますし、ReMUJIの取組をご説明することもあります。色、形もさまざまなので、試着を希望される方も多くいらっしゃいます。新宿という立地上、海外の方も多くお見えになります。海外でも、無印良品の認知度は上がっていますし、無印良品のコンセプトをご理解いただいていることも感じます。さまざまな方に良いきっかけ、「気づき」を与えられる店舗でありたいと思います。

店内は、サステナブルが意識されています。



1階のブランドステージでは、少ない水や肥料で育つ環境負荷の少ない素材「カボック」を使用した衣料品を展開しています。

リニューアルの目標の1つに「ごみを出さない」ことがありました。リニューアル前から使っていたものも活かす形でレイアウトしています。また、使用していた棚を粉砕してチップ化し、新しい棚につくりかえて他店舗で使用しています。



店内の装飾も、環境をイメージしたものになっています。

店内のレジカウンターは、以前から使用していたものを白に塗り直しました。



店舗に戻ってきた衣服には、たくさんの気づきがありました。

回収した衣服は、店舗で仕分けられます。その際には、販売時期が古いものがあると、「長く愛用していただいたのかな」「こんな状態になるまで大切に着ていただいたのかな」「どのような服の種類が多いのか」などたくさんの気づきがあります。

比較的婦人服の回収率が高く、紳士服は低い傾向にあります。販売数も婦人服の方が多いので、販売数に比例しているのかもしれませんが。

「無印良品 新宿靖国通り」のスタッフは、リニューアルオープン前に各店舗から商品センターに集められた衣服の選別作業を行い、回収した衣服がReMUJIになる過程を体感しました。

無印良品の衣料品全般(下着、靴下を除く)・タオル・シーツ・カバー類であれば、状態の悪いものをお持ちいただいてもかまいません。リユースが難しいものは、リサイクルとして活用します。集まったものを見て、フィードバックを繰り返しながら、より良い取組にしていきたいと思えます。そのためにも、回収にご協力いただくと嬉しいです。

ここから、先へ。

ReMUJIの取り扱い店舗数を増やすとともに、衣服の回収量も増やしていきたいです。

回収量が増えれば、多くの店舗でReMUJIの製品を取り扱うことができますし、新しい製品を開発できるようになります。

押し付けるのではなく、提案し、共感してもらうことが大切だと考えています。企業理念である「感じ良い暮らしと社会の実現」を目指し、より多くのお客様に無印良品の取組に参加いただけるよう、情報発信を行ってまいります。

長く着てもらったために
いろいろな工夫を
しているんだね!



衣服以外にも、プラスチックケース、化粧水のボトルなど、回収の対象商品は増えています。再生材を使用したプラスチック商品の販売をスタートし、いろいろと開発できるようになってきました。より良い社会づくりに向け、次のステップへすすむためにも、試行錯誤しています。

取材を通して

衣服を大切に、長く着るための様々な取組や、素材の生産者、作り手、買い手が幸せである製品づくりを行い、都心型店舗としての「情報発信」を使命に、進化しながら歩み続ける「無印良品 新宿靖国通り」。今回の取材を通して、私たちの暮らしに寄り添いながら、新たな視点やヒントを与えてくれる「拠点」だと思いました。

これからも、身近なところから日々の暮らしを見直して行こうと思います。

エコギャラリー新宿スタッフ

エコギャラリー新宿が実施する環境コンテストの紹介です！

第17回 新宿エコワン・グランプリ



新宿エコワン・グランプリとは？

「ゼロカーボンシティ新宿」の実現やSDGsの達成に貢献する、新宿での環境や社会に良い活動および取組を募集、審査し、優良な事例を「新宿エコワン・グランプリ」表彰式で表彰しています。受賞者の皆さまの取組を、表彰式のなかで発表いただくなど、さまざまな媒体を通して発信していくことで、新宿をフィールドに、新たな環境活動をはじめのヒントやきっかけを提供することを目指しています。

新宿エコワン・グランプリくわしくはこちら！

<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/event/4682/>



大賞

パナソニック株式会社エレクトリックワークス社

「環境教育を通じた未来起点+ 人起点のパナソニック社会コミュニケーション」

私たちは電気設備の分野で、住宅やオフィス、施設等を対象に事業展開しており、電気設備により「脱・炭素社会」「次世代への働き方」「災害への備え」の実現を目指しています。全国の学校や地域等で環境教育に取組んでおり、新宿区では2016年より活動を続けています。

令和5年10月には「こどもエコ広場新宿」にて、LEDライトづくりワークショップを行い、白熱電球とLED電球の消費電力の違いや仕組みについてガイダンスを行った上で、太陽光パネル・蓄電池付きのLEDライトの組み立てを行いました。区立花園小学校での出前授業では、花園神社の提灯のあかりをLED電球(950個)に交換する活動を実施しました。ほかにもNPO法人新宿環境活動ネット主催の「まちの先生見本市!(新宿SDGsフェス)」における体験型のブース出展などを行いました、省エネ・創エネに関する普及啓発活動を展開しました。

これからも取組み内容の改善・拡充を進め、次世代への環境意識向上に貢献していきたいです。



優秀賞(環境にやさしい事業者部門)

株式会社ネオキャリア

「地域と企業の連携による「チーム新宿」の環境活動」

新宿区に本社を構える人材総合サービス会社として、新宿の地域課題解決のためにステークホルダーと協働し、サステナブル活動を推進しています。早稲田大学生と区立西新宿小学校との連携による「7R出前授業」の実施や、同小学校PTAと子どもたちとともに、NPO法人新宿環境活動ネットが主催する「まちの先生見本市!(新宿SDGsフェス)」に出展し、子どもたちの遊び場となるような、ペットボトルを活用した緑道を開催しました。他にもエコギャラリー新宿の新宿区「みどりの小道」環境日記では、企業賞「未来を切り拓くで賞」を設け、代表取締役と受賞者で「子ども未来会議」を開催しました。

今後も企業単独で動くのではなく、SDGs17のパートナーシップを軸に区内の活動団体や個人とつながりながら、「チーム新宿」を形成し、地域課題の解決に取り組んでいきます。



優秀賞(グループ部門)

箱根山クラブ

「自然から学ぶ科学実験」

私たちは、地域の助成金や寄付を活用しながら戸山公園周辺で地域交流を目的に野外活動を行っています。令和5年度は、「さわれる水をつくろう」と題した、食用膜で水に膜を作る実験を開催し、食用膜のエコな使われ方について知ってもらいました。また葉脈標本づくりを行い、身近な自然から価値のあるものを作る機会となりました。

これからも様々な世代の方と交流し、地域の課題を見つけながら、学びになるような取組を発信していきます。



優秀賞(個人・ファミリー部門)

横澤典子さん

「みどりの循環を通じたごみ減量の取組」

エコギャラリー新宿主催の「みどりのカーテンプロジェクト」に毎年参加しています。参加をするうちに地球温暖化やごみ問題にも意識が向くようになり、ごみ減量に努めるようになりました。ダンボール・コンポストによる生ごみの堆肥化に取組み、ゴーヤの他にヘチマのみどりのカーテンも育て、マイクロプラスチックの発生しないわしに加工し、台所スポンジとして使用しています。活動を続けていくとどんどん興味が広がり、現在も試行錯誤の最中です。活動を長く続けるため、無理をせず楽しく取り組むことを大切にしていきたいです。



エコギャラリー新宿

新宿区立環境学習情報センター
新宿区立区民ギャラリー



開館時間：10:00～21:00

(区民ギャラリーは10:00～18:00)

休館日：毎月第4月曜日および12月29日～1月3日

※第4月曜日が祝日の場合は翌平日が休館日となります。

〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL:03-3348-6277 FAX:03-3344-4434

E-mail:info@shinjuku-ecocenter.jp

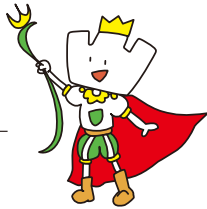
URL:https://www.shinjuku-ecocenter.jp/



エコギャラリー新宿 検索

エコ王子

エコギャラリー新宿
イメージキャラクター



アクセス

徒歩：新宿駅西口より約15分（マップ参照）

バス：●CH01 都庁循環線

新宿駅西口循環

「都庁第一本庁舎」下車 徒歩5分

●京王バス 宿32「佼成会聖堂前」行/宿33「永福町」行

新宿駅西口ターミナル〔17番のりば〕

「十二社池の下」下車 徒歩1分

地下鉄：●大江戸線「都庁前」駅 A5出口 徒歩5分

●丸ノ内線「西新宿」駅 2番出口 徒歩10分

※当施設は駐車場を設けておりません。

ご来場の際は徒歩または公共交通機関にてお越し下さい。



「エコトス」とは

この雑誌には、よく耳にする環境にまつわるワードを一から解説し、誰かへ話したくなる、トライしたくなるような情報を掲載しています。

エコトスの「トス」とは、スポーツで近くにいる味方へ、ボールを軽く投げ渡すことです。この雑誌を読んだあなたが、近くにいる誰かへエコな情報を投げ渡し、エコな世界がどんどん広がっていくことを願い、「エコトス」と名付けました。

サステナブルファッション チェックリスト

サステナブルファッションの実現に向けて、私たちが日常のなかで出来ることはたくさんあります。以下のリストをチェックして、衣服との付き合い方を見直してみよう！

- 一着を長く大切にしている。
- 服を買うときに、本当に必要かよく考えている。
- 着なくなった衣服は人にあげたり回収に出している。
- 日常的に古着を着ている。
- 衣服のエージング(経年変化)を楽しんでいる。
- 長く着られる品質の服を選んでいる。
- 着なくなった衣服はリメイクして楽しんでいる。
- 環境にやさしい洗剤を使って洗濯している。
- 衣服のシェアリングサービスを活用している。
- 環境にやさしい取組をしているファッション企業に関心がある。
- 服が作られるまでの過程を知っている。
- ファッション産業の現状を知っている。